

安全運転をお願いします

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動に合わせて、町内各所で交通安全啓発活動が行われました。



ドライバーは笑顔で「安全運転を心がけます」と応えていました



来島保育所前を走り抜ける

9/21 金
～
9/30 日

このほか、9月23日と26日には、スポーツ少年団が国道54号を通行する車に「りんご」を配って交通安全を呼びかけました。



「マナーアップル」をお願いします!

秋といえば毎年開催される「秋の読書週間」。今年も楽しい企画で、皆さんの来館をお待ちしています!

『みんなの1票で決まる!』
図書館川柳
応募いただいた図書館川柳の中から、皆さんの投票で優秀作品を決定。選ばれた作品には記念品を贈呈。

『企画展』
秋の夜長に読みたい! ミステリー特集
推理小説、サスペンス、ホラーなど、ミステリーといってもいろいろ。あなたはどれを選ぶ?

楽しさいっぱい! 図書館探検

飯南町立図書館
2018年・第72回 読書週間
(10/27(土)～11/9(金))
標語「ホッと=息 本と=息」



飯南町立図書館オリジナルキャラクター「ぶっくん」

『ハロウィン企画』
ハロウィン謎解きミステリー
図書館の中にある謎を解き、答えを導き出そう! 謎が解けたら何か良いことがあるかも...。

『美味しい秋みつけた』
教えて!
あなたのおすすめ秋メニュー
食欲の秋。日々の献立にお役立ち! 旬の食材を使ったおすすめの一品を大公開。

■問合せ
飯南町立図書館
電話 720301

総合振興計画等 評価委員会 答申

平成29年度に町が実施した事業を評価
「第2次総合振興計画」(総合戦略)2つの計画で定めた施策(数値目標)の進捗や成果などを評価・点検する評価委員会(赤穴憲一委員長)が、7月26日に開催されました。

また、9月30日には、赤穴憲一委員長、奥野恵子副委員長が、評価委員会で話し合われた評価や意見を町に対して説明。来年度事業の組み立てに反映するよう町長、副町長に答申しました。答申の内容(概要)は以下のとおりです。

施策ごとの主な意見

【評価の高い施策】
● 若者交流イベント事業

● 飯南町のブランドやイメージを意識してもらったため、「しめ縄合コン」などキャッチコピーを掲げて開催してほしい。

● 保育料軽減事業

● 保育料軽減事業は、画期的な施策である。引き続き進めてほしい。
● 保育料減免ではなく、完全免除という形はできないか? それだけインパクトのある施策が必要。

● 3世代家族支援事業

総合振興計画等目標指標の状況(主な指標)

目標指標	基準値(H26)	平成29年実績値	目標値(H31)
出生数	137人/5年 年27.4人(H22-26)	21人	180人/5年 年36人(H27-31)
社会増減数	-13.2人/年 (H22-26)	+15人	+5人/年 (H27-31)
婚姻数	14組/年 (H22-26平均値)	15件/年	20件/年 (H27-31平均値)
Uターン移住者数	35人/年 (H22-26)	54人/年	53人/年 (H27-31)
飯南高校生徒数	188人	182人	180人以上

● 3世代で生活を始めるための住宅改修にかかる費用に補助金が出る制度だが、既に三世代で生活している家族でも制度の対象となるよう制度改正できないか?

【評価の高い施策】
● Uターンの魅力発掘事業
● 田舎暮らしの本は、本当に効果が高い。積極的に情報発信してほしい。

● 三十路式事業
● 三十路式は、同級生とのつながりも強くなり、Uターンのきっかけにもなる。



赤穴委員長(左から2番目)と奥野副委員長(左)

【評価の低い施策】
● 飯南高校魅力化事業

【評価の低い施策】
● 飯南農業魅力発信事業
● 飯南町には良いものがあるがバラバラ。統一したブランドを確立すべき。

【評価の高い施策】
● 森林を活かした地方創生事業
● 学校や公共施設等に飯南町産材を使用した製品を積極的に導入し、ブランド化を進めてほしい。

【評価の低い施策】
● 飯南ブランド構築事業
● 経費はかかっても、必要であれば実行するという判断を持って進めてほしい。

● オープンキャンパスは、生徒が企画・運営している。来場者の対応も生徒が行っており、保護者も子どもも安心感が生まれやすく、良い企画である。

● 進学率も高く、ホストファミリ制度で地域との交流もできている。人数的にもちょうどよく、親としても行かせやすい。

● 生活交通のあり方検討事業
● ローションポプラでの移動販売は、評判もよく、高齢者の見守りとしても機能している。

● 冬季宿泊施設の増設を検討してほしい。高齢者が集まり、楽しめる場所に設置してほしい。ふるさと納税など目的型の資金確保を検討できないか?

【評価の低い施策】
● 公共交通のありかた検討事業
● デマンドバスは、利用しにくいという声もある。利用促進のためには、利用していない人の声を聴く必要がある。

● 公共交通優待乗車券販売事業
● 移動販売を利用する割引があるなど、免許返納者に対するの支援を検討してはどうか?